

東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.16

2013年2月度 活動報告 (2013年3月25日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている
皆さまに心より感謝いたします。



震災から2回目の3月11日を迎えました。ご家族を亡くされた方々の上に神さまの特別の癒しのみ手が差し伸べられますように、また、行方不明の方々が一日も早く見つかりますよう心からお祈りいたします。

被災地の方々は、復興の明るいニュースと、明日の生活の見えない不安の両面の間で揺れ動く日々を送られているように思います。その心に、これからも静かに寄り添い続けていきたいと思ひます。

2月の活動を報告いたします。



気仙沼市【地域支援】コミュニティセンター再建



コミュニティセンター再建にあたっては、地域の人たちも建設過程にかかわるワークショップをたくさん開催しています。16日は作業所の壁はりワークショップに参加しました。ドイツ人ボランティアのDavidさんはこの日、生まれて初めての建築作業。板を切る人のサポートや材料を運んだり後片付けをしたり、良く働いてくれました。その次の日



からは、コミュニティセンターの外壁となる杉板を焼くワークショップが始まりました。昔から民家などでは焼き杉板を外壁に使っていましたが、宮城県では珍しいようです。24日は15人くらいの地域の人と建物の設計者や施工会社も参加して、みんなで焼杉をやってみました。ワークショップは3月も続きます。

【となりびと】被災地 2月の風景



間もなく震災から二年を迎える被災地では、今回の被災体験を将来の災害に生かすためのプログラムが増えつつあります。2月9・16・23日は、仙台で復興大学公開講座が開講され、となりびとスタッフも参加してきました。

また、仙台中心部では、復興のための被災地商品の販売が積極的に行われています。

【となりびと】1年前を振り返って：2012年2月



2011年4月から始まった「となりびと」の活動。この2年の間に、たくさんのスタッフが入れ替わりそれぞれの役割を果たしていききました。以前の写真を見ていると「どうしているかな」と思うこともあります。昨年2月には、宮戸島を訪れるバスツアーも開催されました。今年から、ツアーは「減災・防災」がメインになります。

【となりびと】ワカメの季節がやってきました



震災1年目からおなじみの西條さんのわかめ。今年もおいしいわかめが出来ました。現在、わかめ・茎わかめ・トロ口昆布(各500円)を販売中です。

西條さんは、お仕事の合間に少しずつパソコンを覚えるなどの勉強もされています。

販売品問い合わせ先：j-sasaki@jelc.or.jp

